



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)	
同連絡先		
単元株式数	100株	
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告による ことができない事故・その他やむを得ない事由 が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
(公告掲載アドレス)	<a href="http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html">http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html</a>	

ご注意

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# タカノ通信 Vol.57



© Snowman Enterprises Limited 2024  
THE SNOWMAN™ Snowman Enterprises Limited

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

## 株主アンケートにご協力ください

WEBアンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

※WEBとハガキの両方で受付しております。

## 「ルビーの里 駒ヶ岳ガーデン」

ルビーの里 駒ヶ岳ガーデンでは、毎年9月中旬から10月上旬に高嶺ルビーという赤い花が満開を迎えます。高嶺ルビーとは、赤い花を咲かせる珍しいソバの品種で、高嶺に咲く宝石という意味を込めて、「高嶺ルビー」と名付けられました。花の色は気温が10℃～15℃まで冷え込むことでより赤さを増していきます。また、華麗に咲く高嶺ルビーのソバ畑を取り囲む森林も魅力の一つで、カラマツやシラカバなど約40種の樹木で構成される林内では、昔ながらの馬搬を導入した森林整備を行い、自然を荒らすことなく、循環する森づくりを進めています。春や夏には近くを流れる黒川など森林浴を楽しみながら遊歩道を散歩することができ、秋には高嶺ルビーが見ごろを迎えます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



## NAGANO trend 46



第71期 年次報告書  
2023年4月1日から2024年3月31日まで



株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
当社の第71期の業績ならびに次期の見通しについて、次のおりご報告させていただきます。

代表取締役社長 鷹野 準

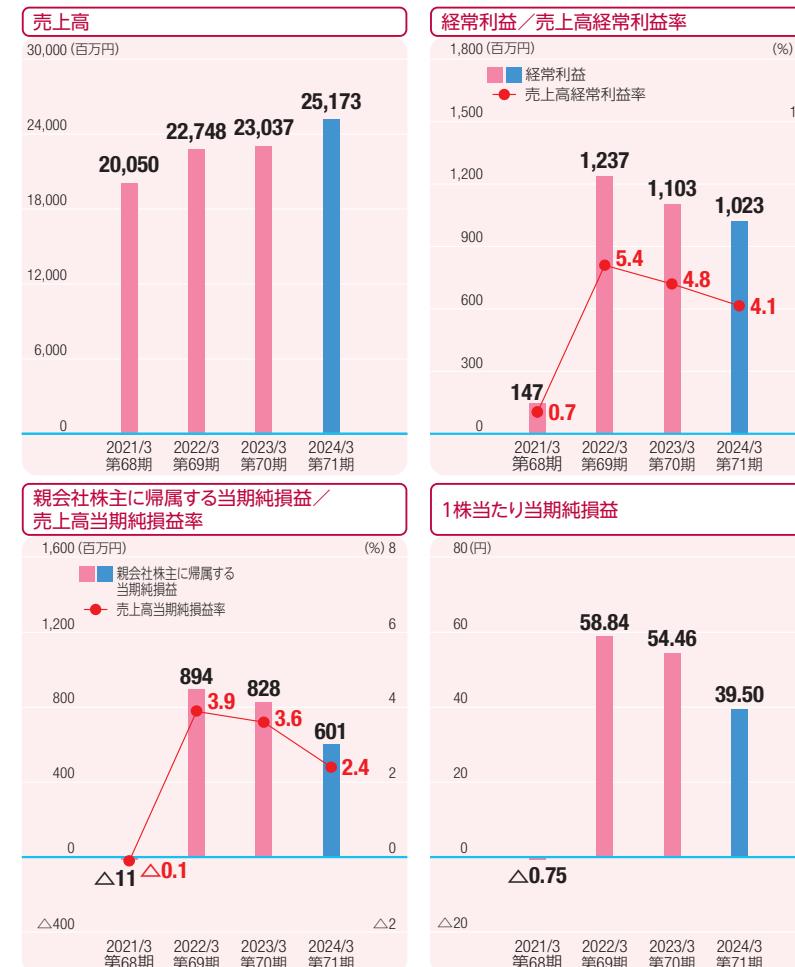
### 当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、内外の金利差による為替変動や物価の上昇、中国での景気後退観測の影響を大きく受けたものとなりました。今後についても、不安定な海外の地政学的なリスクや円安の長期化、原材料価格やエネルギー価格の上昇など先行き不透明な状態が続くと思われまます。  
このような状況において当社では、半導体関係事業の生産体制の整備・事業構造のシフトに努めるとともに、原材料価格・仕入れ価格の上昇の当社製品価格への転嫁などの対応を進めてまいりました。  
この結果、当社グループの主力製品が関係するオフィス家具業界におきましては堅調なオフィス家具への需要に支えられ増収となり、半導体関連業界においても、

特に第1～3四半期には旺盛な需要が見られたことから、当連結会計年度の売上高は25,173百万円で、前連結会計年度比2,136百万円、9.3%の増収となりました。  
一方、利益面につきましては、棚卸資産の調整による利益率の悪化、労務費の上昇および販売力強化にともなう人員増加など固定費の増加により、営業利益880百万円（前連結会計年度比118百万円、11.9%の減益）、経常利益1,023百万円（前連結会計年度比79百万円、7.2%の減益）となりました。また、特別損失に検査計測機器事業およびエクステリア事業の減損損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は601百万円（前連結会計年度比227百万円、27.5%の減益）となりました。

### 次期業績の見通しについて

今後の見通しにつきましては、円安等の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰、地政学リスク、労務費の増加など不透明な経営環境は継続しております。  
このような状況のなか、当社グループの主力製品が関係するオフィス家具業界においては、新しいオフィスのあり方に対応した製品分野の需要の増加が期待され、また検査計測装置・産業機器分野の中でも、半導体製造業界ではいわゆるシリコンサイクルの影響を受けつつも、中期的には堅調な需要を予測しており、これに対応すべく事業構造の変換を進めてまいります。  
次期の連結業績につきましては、売上高24,000百万円（前連結会計年度比4.7%減）、営業利益420百万円（前連結会計年度比52.3%減）、経常利益550百万円（前連結会計年度比46.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円（前連結会計年度比8.5%減）を見込んでおります。また、次期の年間配当金は1株につき20円を予定しております。



	連 結	単 体
売上高	24,000百万円 (前期比4.7%減)	20,500百万円 (前期比7.2%減)
経常利益	550百万円	400百万円
当期純利益	550百万円	400百万円

※上記表の連結「当期純利益」は親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

### 中期経営計画「ONE TAKANO & Growth」を策定

タカノでは、このたび従前の中期経営計画「ONE TAKANO」（2022年3月期～2024年3月期）に続く、新中期経営計画「ONE TAKANO & Growth」（2025年3月期～2029年3月期）を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

## 1. 新中期経営計画の基本方針

新中期経営計画の基本方針として、「研究開発型企業を目指し、他に勝る技術開発・商品開発・事業開発を確実に進め、世の中に新しい価値を提供すると共にグローバル化を進め、事業の発展を図る」を掲げました。5年間の計画のうち、1年目から3年目（2024年度から2026年度）は、研究開発および成長市場への積極的な投資により、成長のための基盤固めを行い、4年目・5年目（2027年度・2028年度）にその成果を実現します。

当社グループ全体で総合力を発揮し、目標達成に向けて取り組んでまいります。

#### (1) 長期経営方針

「百年企業となる」

#### (2) 経営基本理念

「常に高い志を持ち、社会のルールを守り、持続的成長・発展を通じ、豊かな社会の実現に貢献する」

#### (3) 中期経営計画スローガン

「ONE TAKANO & Growth」

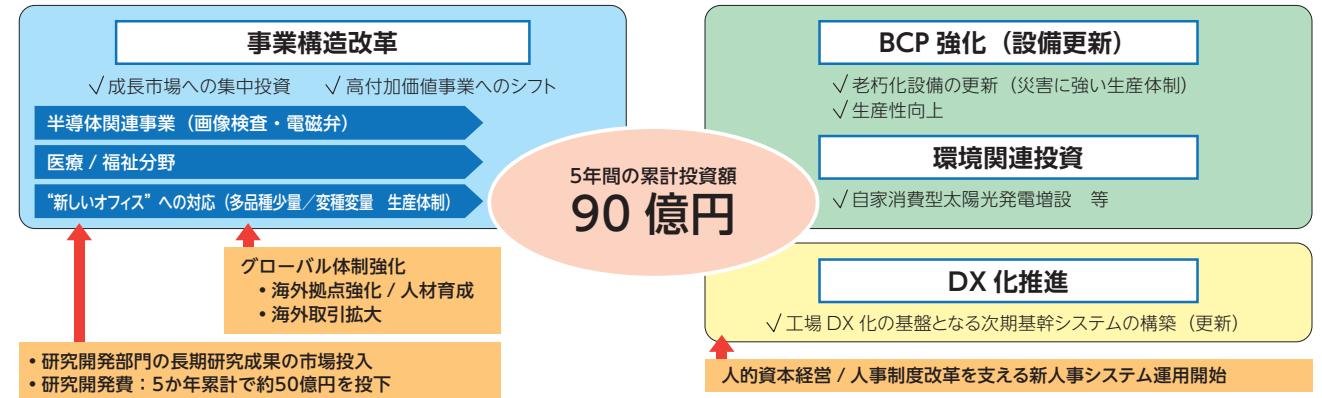
#### (4) 中期経営計画基本方針

「研究開発型企業を目指し、他に勝る技術開発・商品開発・事業開発を確実に進め、世の中に新しい価値を提供すると共にグローバル化を進め、事業の発展を図る」  
～社会が、そしてタカノがサステナブルであるために、構造改革とプロセス改革を進め、高付加価値事業へのシフトとSDGsに向けた動きを加速させ、成長を確実なものにする～

#### (5) 中期経営計画キーワード

『創意工夫』・『挑戦』・『覚悟』 + Speed

## 2. 新中期経営計画の重点投資分野



## 3. 中期経営目標

成長分野に集中投資することで資産効率を上げ、ROA・ROEの向上を図ります。

連結業績等	2023年3月期実績	2024年3月期実績	2029年3月期目標
連結売上高	230億円	251億円	300億円以上
連結営業利益	9億円	8億円	30億円以上
連結営業利益率	4.3%	3.5%	10%以上
ROE	2.7%	1.9%	6.0%程度

## 4. 配当目標

新中期経営計画期間中は、連結配当性向40%を目安に、安定的かつ継続的に実施してまいります。

ヘルスケア部門

子ども用シャワーチェア「SOCOTTO (ソコット)」販売開始

2023年8月、当社ヘルスケア部門の新商品「SOCOTTO (ソコット)」の販売を開始しました。「SOCOTTO」はソフトで、座りココチ、つかいココチよく、コンパクトな子ども用シャワーチェアです。障がい児の介助のなかでも、狭い浴室で子どもを抱えながら行う入浴介助は、介助者の負担が大きく事故のリスクも伴います。現在、入浴介助のサポート機器として主に使用されているシャワーチェアは商品の選択肢が少なく、使い勝手やサイズなどに課題をもっています。今回、試作機にてモニターを実施し、実際に利用されているお客さまからの声を集めるとともに、医療従事者の方々からの協力を得ることで開発を実現しました。「SOCOTTO」の特長として、シートは、座り心地を良くしつつ、カビの発生を防ぐため、防水性のあるポリウレタンシートを採用しました。このシートには、長年ウレタンを扱っている当社のノウハウが活かされています。そして、背もたれと足のせ部分のフレームが伸長可能なため、お子さまの成長に対応することができます。折りたためて持ち運び可能な設計にすることで、利用場所を選ばない便利さも実現しました。さらに、高さを上げられる脚部と、転落やズレ防止のためのサポートベルトのオプションを組み合わせることで無理な体勢による介助負担をなくすことができ、安全性と座位保持を向上させることも可能となりました。タカノでは、今後も社会ニーズに応えた製品開発とサービス改善に努めてまいります。



職場いきいきアドバンスカンパニー上位認証を取得



2023年10月1日、当社は「職場いきいきアドバンスカンパニー」に認証されました。これは長野県が推進している制度で、全ての社員が生き活きと働けるような職場環境づくりに先進的に取り組み、実践している企業等に対して認証を行うものです。これまでに「ワークライフバランスコース」を取得していた当社ですが、今回新たに「ダイバーシティコース」と「ネクストジェネレーションコース」にも認証され、その結果「アドバンスプラス」という上位認証を取得することができました。これらの認証は社員がより良い職場環境で働けることを示しています。今後も当社は職場環境の見直し・改善に継続して取り組んでまいります。

SDGsへの取り組み

ファニチャー部門

エンドマテリアルマーク商標登録「端材は資源」



2024年1月に「エンドマテリアルマーク」を商標登録しました。「エンドマテリアル」は直訳すると「端材」を意味し、このエンドマテリアルマークは「端材は資源」という考え方をもとにして作られています。製造工程で生まれる端材やエネルギーが地球を形成していく姿をイメージし、SDGsの目標8（働きがいと経済成長）、目標12（持続可能な生産と消費）、目標13（気候変動対策）、目標17（持続可能な未来のためのパートナーシップ）を表す色を使用しています。このマークを通じて、社内外の人々に問題を自分ごととして捉え行動に移すきっかけを提供し、意識向上に寄与することを目指しています。

モノづくり「ミライ創造プロジェクト」



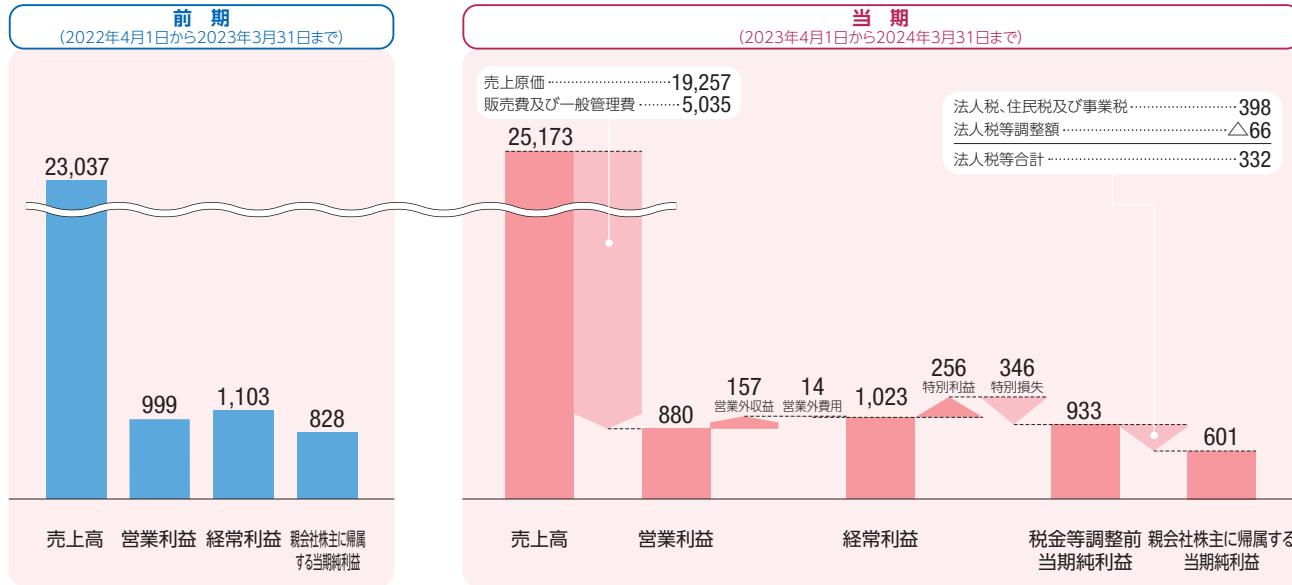
当社では「夢の実現」をミッションに掲げ、子どもたちの未来に、モノづくりを伝える活動「ミライ創造プロジェクト」に取り組んでいます。2023年12月、駒ヶ根市立中沢小学校5年生に向けて「モノづくり授業」を開催しました。まず、当社のVリーガー、波佐間選手が会社説明を行い、その後、椅子を製造している部門から端材再利用のアイデアを紹介し、子どもたちにリサイクルの重要性とモノづくりの楽しさを伝えました。当社の取り組みは、椅子の製造過程やSDGsへの取り組みを通じて、子どもたちに貴重な資源の大切さを理解して



もらうきっかけとなりました。また、工場見学では、椅子の製造ラインの一連の流れを詳しく説明し、時間と労力がかかるモノづくりの過程について理解を深めてもらいました。この取り組みを通じて、タカノはSDGsやモノづくりの価値を伝えつつ、子どもたちにミライ創造への一歩を踏み出すきっかけとなってもらえるよう、今後も持続可能な社会の実現に向けた活動を続けてまいります。

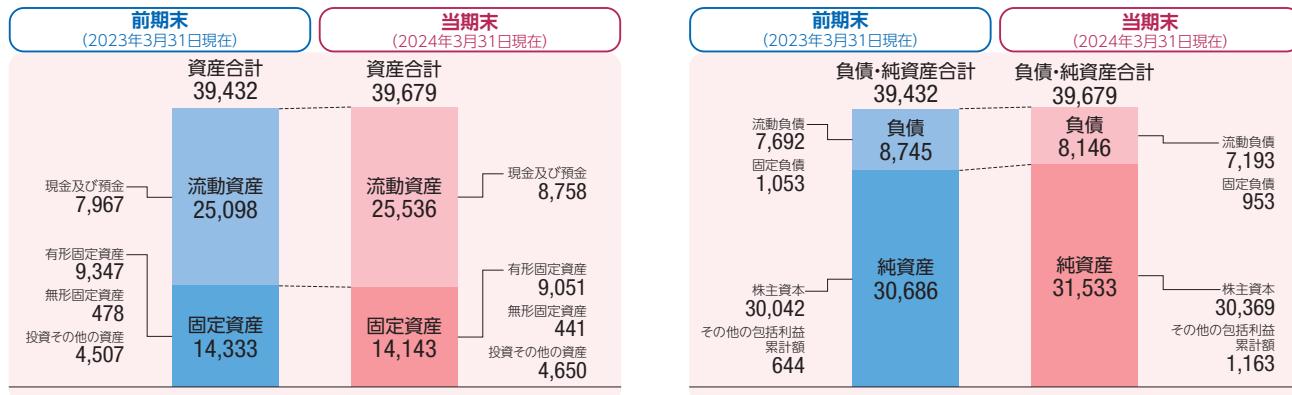
## 連結損益計算書の概要

(単位: 百万円)



## 連結貸借対照表の概要

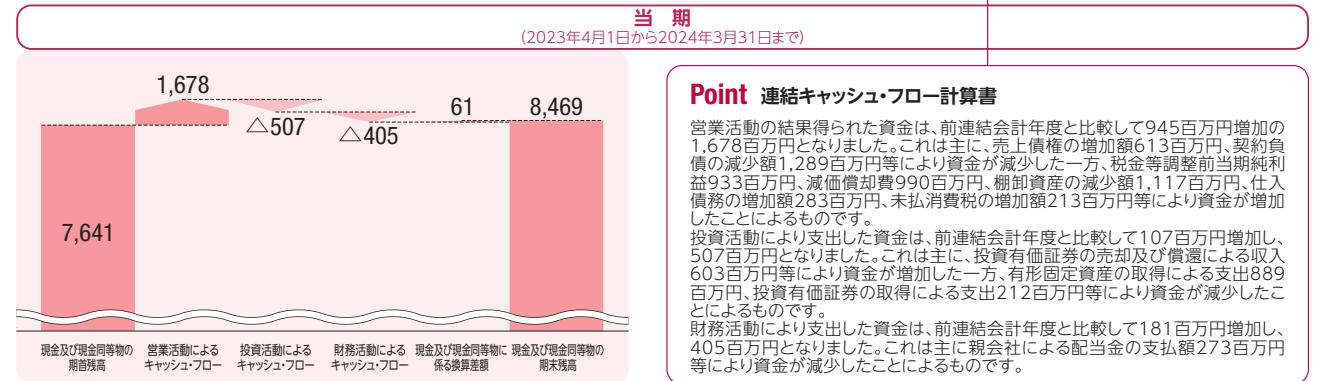
(単位: 百万円)



(注) 当期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期末に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位: 百万円)



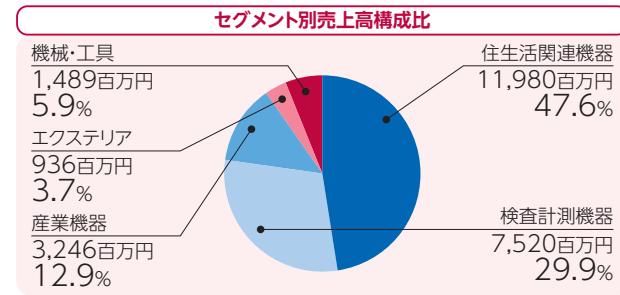
**Point 連結キャッシュ・フロー計算書**  
 営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度と比較して945百万円増加の1,678百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額613百万円、契約負債の減少額1,289百万円等により資金が増加した一方、税金等調整前当期純利益933百万円、減価償却費990百万円、棚卸資産の減少額1,117百万円、仕入債務の増加額283百万円、未払消費税の増加額213百万円等により資金が増加したことによるものです。  
 投資活動により支出した資金は、前連結会計年度と比較して107百万円増加し、507百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入603百万円等により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出889百万円、投資有価証券の取得による支出212百万円等により資金が減少したことによるものです。  
 財務活動により支出した資金は、前連結会計年度と比較して181百万円増加し、405百万円となりました。これは主に親会社による配当金の支払額273百万円等により資金が減少したことによるものです。

## セグメント別概況

(単位: 百万円)

セグメント	売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
住生活関連機器	11,231	11,980	6.7%	△145	△47	-%
検査計測機器	6,499	7,520	15.7%	541	266	△50.8%
産業機器	2,941	3,246	10.4%	504	576	14.2%
エクステリア	916	936	2.1%	6	△6	-%
機械・工具	1,448	1,489	2.8%	93	76	△18.3%
セグメント間取引消去	-	-	-%	△1	15	-%
合計	23,037	25,173	9.3%	999	880	△11.9%

(注) 2023年11月より臨床検査事業を開始したことに伴い、従来各セグメントに配分していた同事業に係る費用について管理区分の見直しを行い、当期より、報告セグメントの区分を「住生活関連機器」に変更しております。そのため、前期の金額については、当該変更後の金額に組替えて比較しております。



## 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号 タカノ株式会社  
 本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137  
 創業 1941年7月1日  
 設立 1953年7月18日  
 資本金 20億1,590万円  
 事業内容 事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、検査計測装置、電磁アクチュエータ、医療・健康福祉機器、臨床検査薬の製造ならびに販売  
 従業員数 593名  
 上場取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

## ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.takano-net.co.jp/>

## 役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長 鷹野 準  
 専務取締役 鷹野 力  
 常務取締役 大原 明夫  
 取締役 久留島 馨  
 取締役 下島 久志  
 取締役 植田 康弘  
 取締役 鷹野 雅央  
 取締役 (非常勤) 黒田 康裕  
 取締役 (非常勤) 吉村 秀文  
 社外取締役 鈴木 浩  
 取締役 (常勤監査等委員) 高嶋 厚  
 社外取締役 (監査等委員) 長谷川 洋二  
 社外取締役 (監査等委員) 小松 哲夫

## グループ会社 (2024年3月31日現在)

- 株式会社ニッコー  
 住所 長野県上伊那郡宮田村  
 事業内容 工具・器具機械等の仕入販売  
 資本金 90百万円
- タカノ機械株式会社  
 住所 長野県上伊那郡宮田村  
 事業内容 省力化機械の製造販売  
 資本金 50百万円
- 株式会社ユーキートレーディング  
 住所 東京都台東区  
 事業内容 福祉用具・健康用品の輸出入および国内販売  
 資本金 10百万円
- 台湾鷹野股份有限公司  
 住所 中華民国台中市  
 事業内容 検査装置の保守サービス  
 資本金 20百万台湾元
- 上海鷹野商貿有限公司  
 住所 中華人民共和国上海市  
 事業内容 オフィス椅子等の仕入販売  
 資本金 50万米ドル
- 香港鷹野国際有限公司  
 住所 中華人民共和国香港特別行政区  
 事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)  
 資本金 1百万香港ドル
- 鷹野電子(深圳)有限公司  
 住所 中華人民共和国広東省深圳市  
 事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)  
 資本金 1百万人民元
- Takano of America Inc.  
 住所 米国カリフォルニア州トーランス市  
 事業内容 エレクトロニクス製品の仕入・販売  
 資本金 80万米ドル

## インフォメーション

### 株主優待制度のご案内

2023年度の株主優待は、2023年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは6点の商品のなかから1点お選びいただき、12月に贈呈いたしました。100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」を同時期に贈呈いたしました。2024年度の優待品も、みなさまにお喜びいただけるよう厳選の品をお送りする予定ですので、ご期待ください。

※2024年度の株主優待品は、2024年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、本年12月より順次お送りさせていただく予定です。

### 会社案内をリニューアルしました



# 株式の状況 (2024年3月31日現在)

## ●株式・株主の総数

発行可能株式総数 50,000,000株  
 発行済株式総数 15,721,000株  
 株主数 8,762名

## ●大株主

株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	14.13%
日本発条株式会社	2,151,500株	14.13%
堀井 朝運	1,487,400株	9.77%
株式会社鷹山	1,135,000株	7.45%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	459,900株	3.02%
一般財団法人鷹野学術振興財団	380,000株	2.49%
タカノ従業員持株会	364,840株	2.39%
タカノ取引先持株会	342,200株	2.24%
福井 利彦	323,300株	2.12%
株式会社八十二銀行	283,900株	1.86%

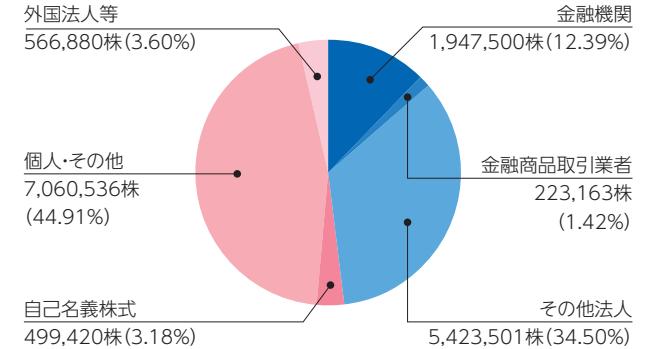
(注) 1. 当社は、自己株式を499,420株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式(499,420株)を控除して計算しております。  
 3. 日本発条株式会社の持株数には、同社が退職給付信託の信託財産として提出している当社株式1,000千株(持株比率6.56%)を含んでおります(株主名簿上の名義は「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託日本発条」再信託受託者株式会社日本カストディ銀行)です。  
 4. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数のうち、360千株は信託業務に係るものです。

## ●配当金および株価等のデータ



※2022/3(第69期)は、記念配当2円を含んでおります。

## ●所有者別株式の分布状況



## 株価

1,068円

## 単元株式数

100株

## 必要最低投資金額

106,800円

上記は2024年3月29日の終値を基に算定しております。